



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ
東北こそだてレター (被災地の今...)



2017/01/17 配信 vol.43

～ 今年も温かいご支援と共に繋がった活動 ～

◆ 支援実績

＜支援母子数＞

・プロジェクト開始より累計 21,910 組

＜活動場所＞

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亘理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

＜活動内容＞

妊産婦教育 / 育児母乳相談 / 母親のメンタルケア / 母子サロン / 母子体操 など

＜その他支援＞

東京への避難母子支援、母子支援者養成に関わる補助

みなさま、こんにちは。 一般社団法人ジェスペールです。

11・12 月が比較的暖かい地域が多かった反動か、最近では全国的な寒波に見舞われていますが、皆様風邪をひくなどされていませんか。

さて今回は、代表の宗から新年のご挨拶をさせていただきます。東日本大震災から間もなく 6 年が経とうとしていますが、皆様のご支援をいただきながら、ジェスペールは今年も活動を続けていきます。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ 新年のご挨拶 (ジェスペール代表 宗祥子)

ジェスペールを支援してくださっている皆様
あけましておめでとうございます。

今年には東日本大震災から丸 6 年目を迎えようとしています。しかし被災を受けた沿岸地帯の被災規模は想像を超えるものがあり、沿岸地方は整地こそされ、元の町並みに戻るには程遠く、震災前の活気を取り戻すには一体何年の月日を必要とするのだろうと、途方に暮れてしまいます。

福島県について言えば、放射性物質の子どもへの影響を懸念する方々が東京に移住している場合、地元の親せきから暗黙の非難を受けると伝え聞いています。

2017 年 3 月には、自主避難者に無料提供されていた都営住宅援助も無くなり、一般の都営住宅応募枠での提供になるため、住居が定まらず困っている方や福島県への帰還を余儀なくされている方もいます。自主避難者に対する各自治体の支援は非常に格差があり、優遇している自治体は数えるほどしかありません。

放射性物質に関しては東京にいても影響があると言われていますが、妊産婦を扱っている代表宗の個人的実感として、妊産婦の方々の中で甲状腺の異常を指摘される方が明らかに増加しており、これも放射性物質の影響の一つではないかと感じています。

日本の出生率は顕著な低下傾向を示しており、被災各地で出産子育てを行おうとする若い方々も減少していくことが予想されます。子ども達の健康被害をできる限り抑えるための支援を続けていけるよう、多くの方の理解が必要とされています。



Takei Megumi

このような状況の中でも、大船渡市で活動する「NPO 法人こそだてシップ」は、大船渡市から委託されて子育てサロンを行い、子育てしやすい地域となるよう様々な企画を提供しています。

<http://kosodateship.org/>

花巻市を中心に沿岸地域で子育てサロンを展開する「まんまるママいわて」は、昨年産前産後ケアハウス《まんまるぼっと》の活動も始め、医療過疎とも言われる岩手県での子育てを支援する活動を広げています。

<http://manmaru.org/>

ジェスペールは、これらの活動の始動と始動時の資金援助(現在は資金面は独立)、広報活動の援助を担ってきました。企業や財団からの資金援助は減少してきたものの、まだ個人やグループの方々が継続的な支援を続けてくださっています。

それらの寄付の使途としては、去年は熊本地震への寄付や、熊本から産後ケアの担い手となるためにドゥーラの資格を取るための奨学金として活用させていただきました。また継続的な援助として微力ですが、福島県や宮城県で子育て支援を続けている助産師の方々に支援金を提供することも出来ました。

今年も、まだまだ様々な形で現地での活動を支援すべく、広報活動や寄付の窓口として活動していく所存です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスペールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介します。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスペールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者： 一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>

Twitter: <https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：info@tohokumama.org

Facebook: <http://www.facebook.com/tohokumama>